



委託製造、自社ブランド、事業承継……  
スポーツを通じての変化

## 「つなぎ合わせる」技術と人。 ウェア製造から地域を支える存在へ。



代表取締役社長  
中嶋 俊輔 Nakajima Shunsuke  
〒018-3311  
秋田 本社：北秋田市材木町7-30  
縫製事業部：北秋田市鷹巣字北家後36-15  
TEL.0186-84-8235  
http://seed-style.jp  
◎設立/1997年  
◎資本金/2,000万円  
◎従業員数/55名  
◎業務内容/スポーツウェアの製造及び販売

昇華プリントという技術を用いてスポーツウェアの製造を中心に全国展開している北秋田市の「シード株式会社」。近年では自社ブランドを立ち上げ、さらに、地元スポーツ店の事業継承をするなど、業務に広がりを見せている。その変遷を、代表の中嶋俊輔氏に伺う。

### 誰もがブランディングできる時代だからこそ

1997年の創業当初は、百貨店で取り扱うエプロンやパジャマなどの縫製を担っていた同社だが、1999年に生地デザインを印刷する昇華プリントの技術を導入して以来、バスケット、サッカー、自転車などのスポーツウェアの製造に注力してきた。

その一方で、2012年には、陸上、ランニングウェアの自社ブランド「DVELOP.」を立ち上げ、業界の流行や生地の知識を生かし、東京支社のデザイナーとともに独自のデザインを

展開し続けている。

これらの事業を行うなかで顧客にも変化がみられる。これまでは、全国の手ブランドや地元チームなどからの委託が大半だったが、最近では、ユーチューバー、インスタグラマーなど、DtoCの販路も広がっているという。

「今は誰もがブランディングできる時代ですが、自社ブランドでの経験を踏まえ提案をしながら、ともにブランドを動かす存在になっていきたいと考えています」と中嶋氏。

### 地域のスポーツを支える存在へ

これまで行ってきた、プリント、縫製の事業に加え、2021年からは、廃業する地元スポーツ用品店の事業を継承し、自社に店舗を設け、野球用品の販売やスキー用品のメンテナンス事業をスタート。これまでスポーツ用品店が担ってきた、スポーツ用品の販売や修繕なども行う立場となった。

「これまでは、北秋田市を拠点としながらも顧客の9割以上が関東圏ということもあり、そこまで地域を意識してこなかったのですが、店舗を設けてからは直接的に地域とつながる機会が増えました」と中嶋氏。北秋田市でも、スポーツに限らず多くの地域課題が挙げられるが、同世代の起業家たちとの交流も増え、地域を盛り上げようと機運が高まってきているという。

### 「つなぎ合わせる」企業

「うちが元々やってきたのは『縫製』という業務。『縫い合わせる』『つなぎ合わせる』という工程のように、最先端



スキーのメンテナンス部門では、競技に合わせて溝の加工をしています。



プリントから縫製まで一貫して担える強みを生かし、全国のバスケット、サッカー、自転車などのユニフォームを製造している。

陸上、ランニングウェアの自社ブランド「DVELOP.」では、インターネットでのカスタムオーダーもを行っています。



現在スタッフは55名。プリント事業、縫製事業の2つの工場に分かれ、受注から出荷まで一貫体制で行っている。

のデザインや技術と地域をつなぎ合わせ、人と人をつなぎ合わせていきたい。さらに、いままで培った技術を継承し未来へ繋げていけるような会社になったらと考えています。」と中嶋氏。

長年、製品づくりでスポーツを支えてきた企業は、スポーツを通して地域や個人の充実を目指して模索中だ。